

楽譜目録入力のための補助資料作成  
- 最低限の品質保持と作業の能率のために -

九州芸術工科大学附属図書館  
行 武 良 子

## 1. はじめに

九州芸術工科大学附属図書館では、平成9年度を以ってNCへの遡及入力計画が完了し、所蔵資料のうち入力可能と判断された資料については、すべてNCに登録済みである。

当館においては、概して、遡及入力されたものについてのレコード調整に関わる問い合わせは、発行年代の古いことやオリジナル入力の比率の高いこともあって、新刊書に比較すると多くなっている。なかでも楽譜に関するものは、その所蔵点数に比して、目立って多くなっている。

そのような状況にあって、私の楽譜資料の入力経験は、当館に配属されてからの1年半あまりであり、知識も経験も不十分で、楽譜資料のレコード調整はもちろん目録入力も正直なところかなり負担に感じている。

今まで当館に寄せられたレコード調整の内容は、恐らく、楽譜資料の目録経験のほとんどない担当者が間違いやすい点、疑問を感じずる点をわずかなりとも反映していることと思われる。そこで、今回それらを検討し、楽譜資料目録入力のための参考資料を作成する。

## 2. 楽譜資料入力補助資料の作成

### 2.1 書誌レコード調整の問い合わせ内容

平成10年度当初から10月初旬の時点で、当館に楽譜資料の書誌レコードに関して問い合わせがあったのは、14の書誌レコードである。一般的なサンプルとは言い難いが、音楽資料を専門に収集している館ではない当館の楽譜資料の書誌レコード調整に関する現状ということで、理解していただきたい。

そのなかで、最も問い合わせの多かったフィールドは、PHYSに関するものであった。問い合わせの内容の概略と件数は、以下のとおりである。

#### 1) PHYSに関するもの

数量の記述方法の間違いによるもの	9件
パート譜の楽器名がVOLフィールドに記録されていたもの	1件

ページ数の相違に関する問い合わせ	1 件
2) TR フィールドに関するもの	
タイトル採用に関する間違い	5 件
著者表示に関する間違い	2 件

他には、声楽譜以外の楽譜について、TXTL に「und」以外の言語コードを記入していたものや、OTHN に見出し語が付与されていないものなどがあつた。

これらの、問い合わせを一見してわかることは、書誌レコードの同定そのものに関する問い合わせではなく、書誌レコード上の不完全な記述に対する確認と訂正依頼の連絡が大部分を占める。このことから、これらの書誌レコードに関する問い合わせは、目録作成時に、データの採用や記述法に関して適切な資料を参照しなかつたために生じたものと言えるだろう。

現状では、楽譜資料の目録入力に際して担当者は、「英米目録規則」第 2 版、「日本目録規則」1987 改訂版（日本語のタイトルを持つ楽譜資料を和図書として登録する場合）、「コーディングマニュアル」、「オンラインシステムニュースレター抜刷集」などを相互に参照しながら入力しなくてはならない。さらに、各種辞典類も必需品であつて、そのような状況で楽譜資料のレコードを作成するのであれば、非熟練者にとって大変な時間と労力が必要であることは、想像に難くないだろう。

## 2.2 資料作成

### 2.2.1 前提条件

作成にあつた前提条件として、以下のような資料と担当者を想定した。

#### a.対象となる楽譜資料

今回、補助資料作成にあつて目録対象資料として想定したのは、タイトルが外国語の楽譜資料で、洋書として目録をとるものである。

#### b.想定した目録担当者

一般図書資料について、書誌レコードの作成ができる基礎知識のある担当者。

### 2.2.2 内容について

補助資料作成の方針としては、「その資料があれば、とりあえず楽譜資料の書誌レコードを作成することができる」ようなものであることを理想としているが、以下の 3 点をポイントとしてあげておく。

a.マニュアルを相互に参照する手間を省くこと。

b.引用元を明示し、元のマニュアルにたどり着けること。

c.見やすいこと。

相互参照の手間を省くことで、多少は能率の向上をはかることができるだろう。また、引用元を明示することで、さらに深く知りたい場合や疑問点が出現した場合に「目録規則」や「コーディングマニュアル」など元の資料にたどりつくことも可能である。「その資料があれば、とりあえず楽譜資料の書誌レコードを作成することができる」という趣旨には矛盾するが、なにか問題が発生した場合には「規則」や「マニュアル」を見る習慣をつけてほしいというのも一つである。見やすいことに関しては、文字どおりである。

書誌レコードのフィールド全てをカバーした補助資料を作成することが出来なかったのので、今回はコードブロックから記述ブロックまでを対象として作成した。リンクブロックまで資料作成が至らなかったのは、主として自身の理解の限界による。

私自身が、楽譜資料の目録に関して初心者なので、記述がうるさい部分があるかもしれない。その点に関しては、作成者のレベルの反映と理解していただきたいと思う。

「楽譜資料目録入力のための補助資料」の詳細は、4p.以降を参照のこと。

### 3.まとめ

楽譜資料は、所蔵する図書館がある程度限られており、目録入力経験のある担当者は、あまり多くないと思われる。

実際、楽譜資料をほとんど入力したことのない担当者が、新規に書誌レコードを作成するのは、時間も労力も要することである。人員も少なく楽譜資料の目録入力経験者もいなくなれば、自館内で資料の所蔵・所在がはっきりしていればそれでいいとすることも出来るかもしれない。が、きちんとした手引きがあれば、入力できる資料もあるのではないだろうか。専門的に楽譜資料を収集している図書館ではなくても、音楽を科目の一つとして扱っており、点数はさほどではなくとも楽譜資料を所蔵している館は、あるはずである。そのような、図書館においても総合目録データベースへの登録が行えるような資料を作成することには、多少なりとも意味があることと考えている。

今回、楽譜資料入力補助資料の作成をして感じたことは、楽譜資料の入力に関して、「英米目録規則」と「コーディングマニュアル」のすりあわせを行った資料がないことが問題ではないかと、いうことである。どちらか1つを読んだだけでは、楽譜資料の目録をとることはできないだけでなく、額面どおりに「コーディングマニュアル」を読むと、実際の書誌レコードの記述との矛盾を感じる部分もある。そのあたりの、統一の見解や申し合わせが公にあれば、書誌レコードの品質を保つ上で、有効であると思う。

目録作成にあたって、「目録規則」や「コーディングマニュアル」で、内容を確認しながら正しく正確な書誌レコードを作成するのが、本来のあり方で、それをしない担当者が反則しているのものであるということもできる。しかし、実際に目録入力してみると、それらの資料を見てもわからない部分というのはある様に思う。そのような部分を補うなんらかの方法が必要であろう。

特殊な資料の入力の手引書を大学レベルで作成した作成したものとしては、東京大学の洋図書資料や中国語資料の目録入力の手引きがあるが、楽譜資料についてもそのような手引きがあれば非常に役立つことと思う。学術情報センター主体のそのような資料作成が難しいということであれば、大学レベルでの作成を考える必要があるのかもしれない。

今回作成した「楽譜目録入力のための補助資料」は、リンクブロックが未作成となっている。今後、リンクブロックまで作成できればと考えている。

## 楽譜資料目録入力のための補助資料

- 引用と入力レベルについて -

### 1) 引用

引用部分については、目で見えて判断できるように、基本的に“ ”で括ってある。“ ”で括らなかつたものについても、直前または、直後に引用元を示した。

「英」 = 「英米目録規則」第2版日本語版（日本図書館協会，1982）

「コ」 = 「コーディングマニュアル」( 学術情報センター，1998 )

### 2) 入力レベルについて

今回この本文のなかに出てくる入力レベルとその定義は以下のとおりである。

< 入力レベル / 必須 1 > = M : Mandatory

目録担当者は、必ずデータ記入を行う

< 入力レベル / 必須 2 > = A : Mandatory if applicable or readily available

目録担当者は、適用可能な情報、又は容易に入手可能な情報が存在する場合、常にデータ記入を行う

< 入力レベル / 選択 > = O : Optional

各参加組織は、目録登録業務方針として、データ記入を行うかどうかの選択を行う

目録担当者は、自参加組織の方針に従って、データ記入を行う（又は行わない）

...コーディングマニュアル 1.0.1E

## 主情報源

### 英米目録規則 第2版 -日本語版 - (以下「英」) 5.0.B1. 主情報源

タイトルページに目録する記述対象のタイトルをふくめて幾つかのタイトルが列記されている場合は、そのタイトルページ (“ list ” title page), 表紙, 見出し (caption) のうち, 最も詳しい情報のあるものを主情報源として使用する。その他の場合はすべて, タイトルページ (2.0B1 を見よ) を主情報源として使用する。

情報が主情報源から得られない場合は, 以下の情報源からとる (下記の優先順位による)。

見出し (caption)  
表紙  
奥付  
タイトルページの裏を含むその他の先行部分  
その他の情報源

#### > 「英」 2.0.B1. 主情報源

“ 単行書の主情報源はタイトルページであり, タイトルページがない場合はその印刷物中のタイトルページの代替物として利用できるものを情報源とする。タイトルページなしで刊行された単行書 (聖書のある版や2言語の辞書の場合のように) では, 表紙 (上覆いの取りはずせるブックジャケットを除く), 簡略タイトルページ (half title page), 見出しタイトル (caption), 奥付, 欄外タイトル (running title), あるいはその他の部分のいずれかで, 最も完全な情報が得られる部分を使用する。タイトルページの代替物として使用した部分は注記に明記する (2.7B3 を見よ)。記述対象のどの部分からも記述の基礎として利用できるデータが得られない場合は, 利用可能ないかなる情報源からでも必要な情報を得る。慣例的にタイトルページに記載される情報が, 繰り返しがあってもなくてもよいが, 見開きページまたは続きページにわたって表示されている場合は, これらの複数ページをひとつのタイトルページとして扱う ”

#### > 「英」 2.7B3. 本タイトルの情報源

本タイトルの情報源が主情報源以外の場合は, その情報源について注記する。

Caption title\*<sup>1</sup>

Spine title

\*<sup>1</sup> Caption title (見出しタイトル) テキストの最初のページの冒頭に記載された著作のタイトル。また, 楽譜の場合は, 楽譜部分の冒頭の小説のすぐ上に記載された作品のタイトル。

... 「英」 付録 D 用語解説

## コードブロック

GMD = 一般資料種別コード < 入力レベル / 必須 2 >

... コーディングマニュアル (以下「コ」) 4.1.3

“ 目録対象資料が属する大まかな種類 (媒体) を示す 1 桁のコード ”

... 「コ」 4.1.3C

該当するコードがあるときには必ず記録するフィールド、したがって楽譜の場合はいつも “ c ” または “ f ” を入力。

SMD = 特定資料種別コード < 入力レベル / 選択 >

... 「コ」 4.1.4

“ 目録対象資料が属する特定の種類 (主に物体としての種類) を示す 1 桁のコードで、一般資料種別コードを細分化したもの ”

... 「コ」 4.1.4C

> 資料種別コード表 「コ」付録 1.1

GMD / SMD コード表 楽譜部分抜粋 ... 「コ」付録 1.1 資料種別コード表

GMD = 一般資料種別	コード	SMD = 特定資料種別	コード
楽譜 (印刷) (printed music)	c	スコア (full score)	a
		ミニチュアスコア (full score, miniature or study size)	b
		鍵盤楽器伴奏譜 (accompaniment reduced for keyboard)	c
		ヴォイススコア (voice score)	d
		コンデンススコア / ピアノコンダクタースコア (condensed score or piano-conductor score)	e
		クローズスコア (close score)	g
		邦楽譜	h
		複合形態の楽譜 (multiple score format)	m
		不明 (unknown)	u
		上記いずれでもないもの (other than score format)	z

楽譜（手稿） （manuscript music）	f	GMD「c」に対応するSMDのうち適切なコードを用いる	
------------------------------	---	-----------------------------	--

## 楽譜の種類など

...いくつかのパートをまとめて記譜したものをスコア（総譜）と呼びます。合奏・合唱曲の基本となる楽譜です。小さいものは、2つの異なったパートを縦につなげたもの（ヴァイオリンとチェロ、歌とピアノ）から、大編成のオーケストラまで規模はさまざまですが、肝要なのは、同種の楽器は大カッコでくくる、ということです。しかし、これも出版社によってかなり方法がちがっているようです。

...「青島広志の楽典ノススメ」青島広志著（音楽の友社，1993）

「英」付録D 用語解説 より

Chorus score（合唱スコア）

音楽作品のスコアで合唱の声部だけをしめしたもの。伴奏を伴う場合には、それを鍵盤楽器用に編曲してある。

Close score（クローズ・スコア）

讃美歌におけるように、独立した諸声部が大譜表<sup>\*2</sup>で記譜された声楽のスコア。

Condensed score（コンデンス・スコア）

必要に応じて、大譜表または3段もしくは4段の譜表に簡約して記譜された管弦楽曲や吹奏楽曲のスコア。

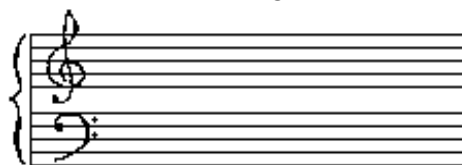
Piano [violin, etc.] conductor score（指揮者用ピアノ [バイオリンなど] パート譜）

合奏曲の特定の楽器のパート譜で、他の楽器のための演奏指示楽節（cue<sup>\*3</sup>）のあるもの。

Piano score（ピアノ・スコア）

オーケストラ用のスコアをピアノ用に書きかえ、大譜表で記譜した簡約譜。

<sup>\*2</sup> 大譜表 Grand staff（Eng.）11線からなる譜表，...「音楽辞典」新版（東京堂出版，1970）



\* 主として鍵盤楽器やハープのために用いる。

<sup>\*3</sup> Cue（Eng.）「手掛かり」の意。楽曲が終始した後におかれる音符，次の楽曲を正しく歌い，あるいは演奏するために，次の新しい楽曲の最初の音符をあらかじめ示して，その「手掛かり」とするので，この名がある。

...「音楽辞典」新版（東京堂出版，1970）



Short score ( ショート・スコア )

作曲者によって書かれた合奏曲のスケッチで、曲の主な特徴を数段の譜表に書いたもの。

Vocal score ( ボーカル・スコア )

すべての独唱のパートを示す総譜。伴奏を伴う場合には、それを鍵盤楽器用に編曲してある。

「標準 音楽辞典」( 音楽之友社, 1966 ) より

ヴォーカル・スコア vocal score [英]

オペラやオラトリオなどで歌手や指揮者のために、管弦楽の部分をピアノに編曲し、各声部を区分して書いた合唱用の楽譜。

コンダクターズ・パート conductor's part [英]

管弦楽作品の簡略された総譜。普通、他の主要楽器の入るきっかけを示す主要声部のパート譜（主として第1ヴァイオリン）を含む。

ピアノ・スコア Piano-score [英] Klavierpartitur・Klavierauszug [独] partitura del pianoforte [伊] partition du piano [仏]

多くの声部の作品、あるいは多くの楽器のための作品を、ピアノで演奏できるように書き直した楽譜。

... 後略

YEAR = 刊年 < 入力レベル / 必須 2 > ( 刊年 1 < 必須 1 > , 刊年 2 < 必須 2 > )

... 「コ」 4.1.5

“ YEAR フィールドには、PUB フィールドに記録された出版・頒布等の日付に対応する日付をコード化して記録する。ただし、原本代替資料の場合は、PUB フィールドに対応する日付ではなく、原本の出版・頒布等の日付をコード化して記録する ”

“ 刊年 1 には、主たる出版・頒布等の日付に対応する西暦年を記録する ”

“ 刊年 2 には、刊年終了の日付に対応する西暦年を記録する ”

... 「コ」 4.1.5C C1

CUNTRY = 出版国コード < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.1.6

“ CNTRY フィールドには、出版地・頒布地等に対応する出版国コードをデータ要素として記録する ”

... 「コ」 4.1.6C

> 出版国コード表 = 「コ」 付録 1.2

出版国コード表 抜粋

コード	国名・地域名
ca	Canada(カナダ)
fr	France(フランス)
gw	Germany(ドイツ)
it	Italy(イタリア)
ja	Japan(日本)
sp	Spain(スペイン)
uk	United Kingdom(イギリス)
us	United States(アメリカ)

TTLL = 本タイトルの言語コード < 入力レベル / 必須 1 >

... 「コ」 4.1.7

“ TTLL フィールドは、本タイトルの言語に対応する言語コードをデータ要素として記録する ”

... 「コ」 4.1.7C

> 言語コード表 = 「コ」 付録 1.3

#### 言語コード表 抜粋

コード	言語名
eng	English(英語)
fre	French(フランス語)
ger	German(ドイツ語)
ita	Italian(イタリア語)
jpn	Japanese(日本語)
spa	Spanish(スペイン語)

TXTL = 本文の言語コード <入力レベル / 必須 1 >

... 「コ」 4.1.8

“ TXTL フィールドには、本文の言語コードをデータ要素として記録する ”  
楽譜の場合は、“ 声楽譜本体の歌詞の言語 ” を記録する。

... オンラインシステムニュースレター抜刷集 ( No.1~No.55 ) p.134

声楽譜以外の楽譜に、例えば、前書や解説があっても無視。

声楽譜以外 ( 歌詞のない楽譜 ) の場合はコード「und」と記入。

コード「und」は、“ コード表で未定義の言語の場合、親書誌レコード ( ただし、バランスしない書誌の場合を除く ) 及びテキストの全くない資料の書誌レコードの TXTL フィールドにデータを記入する場合にも使用する ”

... 「コ」 付録 1.3 注意事項

ORGL = 原本の言語コード <入力レベル / 選択 >

... 「コ」 4.1.9

“ ORGL フィールドには、翻訳の原本の言語に対応する言語コードをデータ要素として記録する ”

楽譜の場合は、声楽譜本体の歌詞が翻訳である場合に、オリジナル・原本の言語を記録する

... 「オンラインシステムニュースレター抜刷集」( No.1~No.55 ) p.134

REPRO = 複製コード < 入力レベル / 選択 >

... 「コ」 4.1.10

“ REPRO フィールドには、複製コードをデータ要素として記録する ”

目録対象資料が複製物のとき、またはその資料に複製物が収められている場合は、量に関わらずコード「c」を記入する。

... 「コ」 4.1.10D

VOL = 巻冊次等 < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.1.11

楽譜が総譜とパート譜に分かれているときに、VOL には記録せず PHYS に記録。

ISBN = 国際標準図書番号 < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.1.12

PRICE = 価格 / 入手条件 < 入力レベル >

... 「コ」 4.1.13

XISBN = 取消 / 無効 ISBN < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.1.14

ISSN = 国際標準逐次刊行物番号 < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.1.15

NBN = 全国書誌番号 < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.1.16

LCCN = LC カード番号 < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.1.17

GPON = GPO 番号 < 選択 >

... 「コ」 4.1.18

OTHN = その他の番号 < 入力レベル / 選択 > ( 番号の種類 < 必須 1 > , 番号 < 必須 1 > )

... 「コ」 4.1.19

“ 楽譜のプレート番号 ( plate number ) ” や “ 楽譜等の出版者番号 ( publisher's number ) ” を記録する。

その他の番号を入力するときには、必ず「番号の種類コード」も入力する。

> 番号の種類コード表 = 「コ」付録 1.7 その他のコード表

番号の種類コード表 抜粋

コード	番号の種類
PLNO	楽譜のプレート番号 (plate number)
PUNO	楽譜等の出版者番号 (publisher's number)
MUNO	楽譜の番号 (プレート番号か出版者番号か不明の番号)

“ 楽譜のプレート番号、出版者番号等は、出版者名等を除いた部分を記録する ”

“ 必要に応じ、NOTE フィールドに目録対象資料に表示されているとおりの形を記録する ”

... 「オンラインシステムニュースレター抜刷集」( No.1~No.55 ) p.77

例 ) OTHN: PUNO:193A

( PUNO が番号の種類コード )

ド )

NOTE:Publisher's no. : Edition Peters Nr. 193A

## 記述ブロック

TR = タイトル及び責任表示に関する事項 < 入力レベル / 必須 1 >

... 「コ」 4.2.1

タイトルと責任表示の規定の情報源                      主情報源  
... 「英」 5.0B2.

記述文法がわからないときには、コーディングマニュアルで確認。

英米目録規則では、5.1C1.で“1.1Cの指示のように、適切な一般資料表示を、本タイトルのすぐあとに付記する”とあるが、NCレコードでは、GMDフィールドに1桁の一般資料種別コードを入力する。

#### 1)本タイトル

“タイトルが1またはそれ以上の楽曲形式の名称、および1またはそれ以上の次の表示、すなわち演奏手段、調、作曲年および(または)作曲番号からなる場合は、それらの要素を本タイトルとして記録する”

“その他の場合はすべて、演奏手段、調、作曲年および作品番号の表示をタイトル関連情報として扱う”

“判断できない場合は、演奏手段、調、作曲年および作品番号を本タイトルの一部として扱う”

... 「英」(修正事項) 5.1.B1. (本編 5.1.B2. 条項および例を削除)

#### 2)責任表示

“責任表示は、個人名や団体名が含まれていない場合でも、そのまま転記する”

... 「英」 1.1F14.

原曲を編曲したものなどで、個人名を伴わない編曲に関することながら、責任表示にあたることもあるので注意。

ED = 版に関する事項 < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.2.2

版表示の規定の情報源                      主情報源、見出し、表紙、奥付、タイトルページの裏を含むその他の先行部分

版に関する責任表示などがあり、記述文法がわからないときには、コーディングマニュアル で確認。

“楽譜において、歌曲(集)の声部を表す表示が版表示に該当することがあります”

... 「オンラインシステムニュースレター抜刷集」(No.1~No.55) p.78

PUB = 出版，頒布に関する事項 < 入力レベル / 必須 1 >

... 「コ」 4.2.3

“ 著作権登録年が楽譜の第 1 ページだけに表示されている場合は，それを角がっこにいれない ”

... 「英」 5.4F1.

PHYS = 形態に関する事項 < 入力レベル / 必須 2 >

... 「コ」 4.2.4

#### 1) 資料の数量

“ 記述対象の物理単位数は、アラビア数字による総譜またはパート譜の数に，場合に応じて下記の用語中のもの一つを付して記録する

score  
condensed score  
close score  
piano [violin など] conductor part  
vocal score  
piano score  
chorus score  
part

特種な楽譜には，適切な特定の用語を使用する（例えば choir book, table book）。上記の用語がいずれにも該当しない場合には，記述中に一般資料表示がなければ v. of music または p. of music もしくは leaves of music を使用する。一般資料表示があるときは、v. または p. もしくは leaves を用いる。

楽譜が手写したものである場合は，適用した用語に ms. を付記する。総譜および（または）パート譜の数量は出版者により発行されたものを記載する。それと図書館の所蔵状態との相違，およびその図書館が所有している総譜あるいはパート譜の部数は、注記エリアに記録する（5.7B20）をみよ。

1 score  
1 vocal score  
4 parts  
1 ms. score  
1 score and part

( 総譜の 5 ページにパート譜が印刷されてある )”

... 「英」 5.5B1.

NC レコードは、現在ではコードブロックに一般資料種別を記録している。個人的な意見としては、「英米目録規則」でいうところの「一般資料表示があるとき」が適用されると思われるが、旧来からのレコードとの兼合いで、「一般資料表示がないとき」の表記が多く使われている様に思う。どちらがより適切な記入なのか... ?

“ 楽譜が、異種の総譜から、または総譜とそのパート譜から、もしくは異種の総譜とパート譜からなる場合は、それぞれの細目を 5.5.B1 の表の順序で、1 字あけ、プラス記号、1 字あけ、に続けて記録する ”

... 「英」 5.5B2.

“ 楽譜の数量表示へ、ページ付や冊数を 2.5B の指示のように付記する。

1 score (vi, 27 p.)

1 score (2 v.)

1 miniature score (3 v.)

1 score (viii, 278 p.) + 24 parts

1 score (23 p.) + 1 piano conductor part (8 p.) + 16 parts

1 score (2 sheets) ”

... 「英」 5.5B3.

## 2)挿図

“ 挿図に関する事項を、2.5C の指示のように記録する。

1 score (vi, 27 p.) : ill.

1 score (23 p.) : port.

1 score (23 p.) : ill. + 16 parts ”

... 「英」 5.5C1

## 3)大きさ

“ 楽譜の大きさを、2.5D の指示のように記録する。楽譜が総譜とパート譜からなる場合は、総譜とパート譜についての細目を記載したのちに、大きさを記載する。総譜とパート譜の大きさが異なる場合は、該当する細目のあとにそれぞれの大きさを記載する。

1 miniature score (34 p.) ; 18 cm.

1 score (20 p.) + 1 part ; 28 cm.

1 score (vi, 63 p.) ; 20 cm. + 16 parts ; 32 cm. ”



... 「英」 5.5D1.

「英米目録規則」の例では、“ cm. ” となっているが、フィールドの末尾に来たときには、ピリオドを打たなくてよい。

#### 4) 付属資料

“ 楽譜と共に刊行され、かつそれと共に使用することが意図されたすべての資料の名称は 1.5E の指示のように記録する。任意に、形態的記述を記録してもよい。

1 score (32 p.) + 5 parts ; 26 cm. + 1 sound tape reel

1 score (vii, 32 p.) ; 28 cm. + 1 sound tape reel (60 min. : 71/2ips, mono. ; 7 in., 1/2in. tape)

1 score (30 p.) + 4 parts ; 24 cm. + 1 booklet ”

... 「英」 5.5E1.

NOTE = 注記 < 入力レベル / 選択 >

... 「コ」 4.2.7

“ AACR2 区切り記号の採否

AACR2 の 1.7A1 (区切り記号法) 及び 2.7A1 (区切り記号法) の採否については次のとおりとする。

1つの注記ごとにフィールドを繰り返して記録するのを基本とするため、区切り記号法は用いない。ただし、1つのNOTEフィールド中に複数の注記を記録する必要がある場合は、この区切り記号法を採用する ”

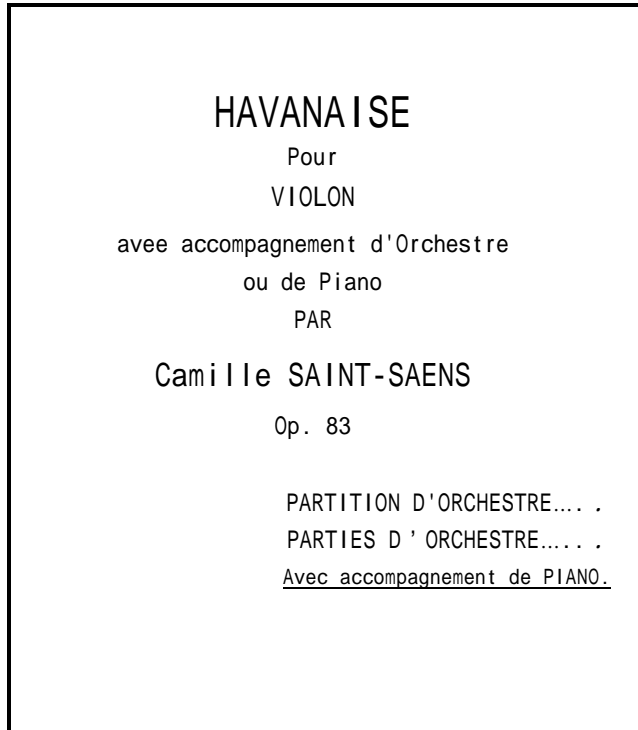
... 「コ」 4 . 2 . 7 C

本タイトルを主情報源以外から採用した場合には、忘れずに注記する。

楽譜のプレート番号、出版者番号等は、出版者名等を除いた部分を記録するので、必要に応じ、NOTEフィールドに目録対象資料に表示されているとおりの形を記録する。

入力例

主情報源 <見本> タイトルページ



<BA26135053>  
CRTDT:19951110 CRTFA:FA003476 RNWDT:19981016 RNWFA:FA006168  
GMD:c SMD:a YEAR:19-- CNTRY:fr TTLL:fre TXTL:und ORGL:  
VOL: ISBN: PRICE:  
OTHN:PLNO:D.S.3860  
TR:Havanaise : pour violon avec accompagnement d'orchestre ou de piano,  
Op. 83 / par Camille Saint-Saens ; avec accompagnement de piano  
PUB:Paris : Durand , [19--]  
PHYS:1 score (15 p.) + 1 part (7 p.) ; 32 cm  
NOTE:For violin and piano  
NOTE:"a monsieur Diaz Albertini"  
AL:Saint-Saens, Camille, 1835-1921 <DA03384022>  
CLS:LCC:M221  
SH:LCSH:Violin and piano music//K

主情報源 < 見本 > 表紙

PAUL HINDEMITH

1895-1963

Messe

fur gemischten Chor a cappella

1963

Partitur ... Edition Schott 5410

Chorpartitur/2 Chorstimmen

B. SCHOTT'S SOHNE . MAINZ

Schott & Co. Ltd., London . Schott Music Corp., New  
York

Printed in Germany

<BA23424509>

CRTDT:19941017 CRTFA:FA003476 RNWDT:19981029 RNWFA:FA015012

GMD:c SMD:a YEAR:1963 CENTRY:gw TTL:ger TXTL:lat ORG:

VOL: ISBN: PRICE:

OTHN:MUNO:5410

TR:Messe fur gemischten Chor a cappella, 1963 / Paul Hindemith

PUB:Mainz : B. Schott's Sohne , c1963

PHYS:1 score (26 p.) ; 28 cm

NOTE:MUSIC:Partitur

NOTE:Latin words

NOTE:Title from cover

NOTE:Duration: ca. 20:00

AL:Hindemith, Paul, 1895-1963 <DA01700595>

UTL:Hindemith, Paul, 1895-1963 -- Mass <EA00175261>

CLS:LCC:M2011

SH:LCSH:Masses, Unaccompanied -- Scores//K